

調査番号 0884

調査名 育児休業制度等に関する実態把握のための調査, 2012

本調査票を引用する際には出典を明記して下さい。

育児に関するアンケート

アンケートにアクセスしていただき、ありがとうございます。

このアンケートは先日お送りした「あなた自身に関するアンケート」で、「**現在働いており、血縁関係のあるお子様がいらっしゃる**」とお答えの方にご案内しております。

条件をご確認の上、よろしければアンケートにご協力ください。

ご協力いただける場合は「開始」ボタンを押し、回答を開始してください。

開始

【1. あなたご自身についておうかがいします。】

Q1 あなたの性別をお答えください。

(回答は1つ)

- 男性
 女性

Q2 あなたの年齢をお答えください。

(回答は半角数字で入力)

 歳

Q3 あなたの居住地域をお答えください。

(回答は1つ)

▼以下の中からお選びください。▼

▼以下の中からお選びください。▲	兵庫県
北海道	奈良県
青森県	和歌山県
岩手県	鳥取県
宮城県	島根県
秋田県	岡山県
山形県	広島県
福島県	山口県
茨城県	徳島県
栃木県	香川県
群馬県	愛媛県
埼玉県	高知県
千葉県	福岡県
東京都	佐賀県
神奈川県	長崎県
新潟県	熊本県
富山県	大分県
石川県	宮崎県
福井県	鹿児島県
山梨県	沖縄県
長野県	
岐阜県	
静岡県	
愛知県	
三重県	
滋賀県	
京都府	
大阪府	

Q4 あなたの昨年1年間の収入と、世帯全体の年収をお答えください。

(回答は横の行ごとに1つずつ)

※税込みでお答えください。

	130万円未満	130万円以上 ～300万円未満	300万円以上 ～500万円未満	500万円以上 ～700万円未満	700万円以上 ～900万円未満	900万円以上 ～1000万円未満	1000万円以上	わからない
あなたの年収	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
世帯年収	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【2. 就業状況等についておうかがいします。】

Q5 あなたの現在のお仕事に最もあてはまるものをお選びください。

(回答は1つ)。

※現在産休・育休中の方は、休業に入られる前についてお答えください。

- 専門職・技術職(看護師、教師、技術者、デザイナーなど専門的知識・技能を要するもの)
- 管理職(課長職相当以上)
- 事務職(一般事務、経理など)
- 営業・販売職(店員、不動産販売、保険外交、外勤のセールスなど)
- サービス職(理・美容師、料理人、ウェイトレス、ホームヘルパーなど)
- 生産現場職・技能職(製品製造・組立、自動車整備、建設作業員、大工、電気工事、農水産加工など)
- 運輸・保安職(トラック運転手、船員、郵便等配達、通信士、警備員など)
- その他 具体的に:

Q6 あなたの役職をお答えください。

(回答は1つ)

※現在産休・育休中の方は、休業に入られる前についてお答えください。

- 一般
- 主任・係長クラス
- 課長クラス
- 部長クラス以上(役員を含む)
- その他

Q7 下記の方の1週間あたりの実労働時間は、おおよそ何時間ですか。残業時間も含めてご回答ください。

(回答は横の行ごとに1つずつ)

※現在産休・育休中の方は、休業に入られる前についてお答えください。

※表示している選択肢の中からお選びください。

	週20時間以内	週20時間超 ～週30時間以内	週30時間超 ～週40時間以内	週40時間超 ～週50時間以内	週50時間超 ～週60時間以内	週60時間超	わからない	働いていない
あなた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	--	--
配偶者	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【3. 妊娠中の状況についておうかがいします。】

Q8 あなたは、母性健康管理指導事項連絡カード※(ほとんどの母子健康手帳に様式が記載されています)を知っていますか。また、実際に使ったことがありますか。

(回答は1つ)

※仕事を持つ妊産婦の方が、医師等から通勤緩和や休憩等の指導を受けた場合、その指導内容を事業主の方に的確に伝え、適切な措置を講じてもらうためのものです。

- 知っており、実際に利用したことがある
- 知っているが、自分が利用したことはない
- 知らないし、利用したこともない
- 知っているかどうか、わからない

Q9 あなたは、あなたと血縁関係にある末子(一番下のお子様)の妊娠・出産を機に、お仕事を退職しましたか。

(回答は1つ)

退職した

- 末子を妊娠中に退職した
- 末子の産前産後休業中、または産休復帰後まもない時期に退職した
- 末子の育児休業中、または育休復帰後まもない時期に退職した

継続した

- 退職せず、継続して働いている(または産休・育休など休職中)

働いていなかった

- 末子を妊娠した時は、働いていなかった

Q10 (1)あなたは末子のお子さんを妊娠中に、妊娠を理由として、仕事内容や配置、勤務時間の短縮など働き方が変わったご経験がありますか。あてはまるものをすべてお選びください。
(2)(1)で選択したもののうち、あなたの希望以外だったものをすべてお選びください。

(回答は横の行ごとにいくつでも)

※現在所属する企業以外での経験も含めてお答えください。

※表示している選択肢の中からお選びください。

	軽易な業務への転換や作業の制限など仕事内容の変更	所属部署の変更など・配置の変更	勤務時間の短縮	その他 ※内容は具体的に	いずれの変化もなかった	あてはまるものはない
(1) 末子妊娠中に働き方で変化があったもの	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	--
(2) (1)で選択したもののうち、あなたの希望以外だったもの	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	--	<input type="checkbox"/>

Q11 末子の妊娠・出産を機に、お仕事を辞めた理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。

(回答はいくつでも)

- 家事・育児に専念するため、自発的に辞めた
- 結婚、出産、育児を機に辞めたが、理由は結婚、出産等に直接関係ない
- 夫の勤務地や夫の転勤の問題で仕事を続けるのが難しかった
- 勤務先の両立支援制度が不十分だった、または制度があっても使いにくかった
- 就業時間が長い(残業など)、または早朝・深夜勤務など勤務時間が不規則だった
- 自分や子の体調不良などで、仕事と育児の両立が難しかった
- 保育園など子どもの預け先や家族の協力が得られなかった
- 子を持つ前と仕事の内容や責任等が変わり、やりがいを感じられなくなった(なりそうだった)
- 仕事を続けていても、将来的にキャリアの進展が見込めなそうだった
- 解雇された、もしくは退職勧奨された
- その他 具体的に:

Q12 あなたが末子の妊娠・出産を機に退職してから再就職するまでの期間は、おおよそのくらいでしたか。

(回答は1つ)

- 半年未満
- 半年以上～1年未満
- 1年以上～2年未満
- 2年以上～3年未満
- 3年以上～4年未満
- 4年以上

Q13 あなたが現在の会社に再就職した理由は何ですか。あてはまるものをお選びください。
初めて現在の会社に就職した方は就職した理由をお答えください。

(回答はいくつでも)

- 自分のキャリアを伸ばすことで得られる喜びや満足感のため
- 自分のキャリアにおいて力と地位をもう一度強めたかったから
- 仕事における人間関係をもう一度持ちたかったから
- 自分自身の収入を持ちたかったから
- 子どもや家族の世話の時間が減ってきたから
- 子どもの教育や養育にお金がかかるため
- 配偶者の収入が減ったから
- 配偶者がリストラされたから
- 離婚したから
- その他 具体的に:

【4. 出産時の対応についておうかがいします。】

Q14 あなたは、育児休業制度について、勤務先の制度及び法律上定められている制度の内容について、どの程度知っていますか。それぞれ最も近いものを1つお選びください。
 なお、(4)～(6)は、平成22年6月に施行された「改正育児・介護休業法」によって新たに設けられた制度です。

(回答は横の行ごとにつづつ)

	よく知っている	だいたい知っている	あまり知らない	全く知らない
勤務先の制度				
(1) 現在の勤務先の育児休業制度の内容	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
法律上、定められている制度				
(2) 育児休業制度の対象要件(雇用形態、勤続年数など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(3) 育児休業を取得可能な子どもの年齢	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(4) パパ・ママ育休プラス (夫婦で育児休業を取得する場合、子が1歳2か月に達するまで休業を可能とする制度)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(5) 父親が再度の休業を取得できる制度 (父親が産後8週間以内に育児休業を取得した場合、8週間以降に再度育児休業を取得できる制度)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(6) 配偶者が専業主婦(夫)の場合でも休業を取得可能とする制度 (子育てに専念できる配偶者がいる者を、育児休業の対象外とすることを禁止する制度)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(7) 育児休業中の所得保障 (育児休業給付金)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(8) 育児休業中の本人・勤務先の社会保険料の免除	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q15 あなたと血縁関係のある末子(一番下のお子様)が生まれた年月をお答えください。

(回答は半角数字で入力)
 ※西暦でお答えください。

西暦 年 月に末子を出産

Q16～Q18は、下記の方の末子妊娠時についてお伺いします。

Q16 下記の方は、末子妊娠時にどのような就業形態で働いていらっしゃいましたか。あてはまるものを1つずつお選びください。

(回答は横の行ごとに1つずつ)
 ※複数あてはまる方は、最もメインで行っていたものについてお答えください。
 ※表示している選択肢の中からお選びください。

	正社員・職員	非正社員・職員 パート・アルバイト・契約社員	派遣労働者・派遣社員	自営業主・家族従業員・内職・在宅就業など	その他 ※回答は具体的に	働いていなかった 専業主婦・主夫・学生など	末子妊娠時に配偶者がいなかった
あなた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	--
配偶者	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q17 末子妊娠時の下記の方の1週間あたりの実労働時間は、おおよそ何時間くらいでしたか。残業時間も含めてご回答ください。

(回答は横の行ごとに1つずつ)
 ※複数あてはまる方は、最もメインで行っていたものについてお答えください。
 ※表示している選択肢の中からお選びください。

	週20時間以内	週20時間超～週30時間以内	週30時間超～週40時間以内	週40時間超～週50時間以内	週50時間超～週60時間以内	週60時間超	わからない
あなた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	--
配偶者	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q18 あなた、もしくはあなたの配偶者が末子を妊娠した際に、所属していた企業におけるあなたの勤続年数をお答えください。

(回答は1つ)

- 1年未満
- 1年以上～3年未満
- 3年以上～5年未満
- 5年以上～10年未満
- 10年以上～20年未満
- 20年以上
- わからない

Q19_1 下記の方は、末子出産時、以下の休暇・休業制度を取得しましたか。(現在取得中のものや、今後予定しているものも含みます)。
なお、産前産後休暇は対象外としてください。

(回答はいくつでも)
※現在所属する企業以外での利用経験も含めてお答えください。

あなた

- 育児休業制度
- 年次有給休暇制度
- 配偶者出産休暇制度※
- その他の休暇・休業制度
- 休暇・休業は取得していない
- 末子出産時は仕事をしなかった

配偶者

- 育児休業制度
- 年次有給休暇制度
- 配偶者出産休暇制度※
- その他の休暇・休業制度
- 休暇・休業は取得していない
- 末子出産時は仕事をしなかった
- 末子出産時は配偶者がいなかった

※【配偶者出産休暇制度とは】
年次有給休暇制度以外の休暇で、配偶者の出産の際に、病院の入院・退院、出産等の付き添いなどのために男性労働者に与えられる休暇。なお、企業によって、制度がない場合もあります。

Q19_2 Q19_1でお答えになった休暇・休業は、それぞれおおよそ何日間取得しましたか。現在取得中の方や今後取得予定の方は、今後の予定も含めてお答えください。**なお、産前産後休暇は対象外としてください。**

(回答は半角数字で入力)
※半日取得した方も、1日と記入してください。

あなた

育児休業制度 年 か月 日間

年次有給休暇制度 日間

配偶者出産休暇制度 日間

その他の休暇・休業制度 日間

配偶者

育児休業制度 年 か月 日間

年次有給休暇制度 日間

配偶者出産休暇制度 日間

その他の休暇・休業制度 日間

Q20 あなた、もしくはあなたの配偶者は、末子出産時に次の制度を利用しましたか。利用したものをすべてお選びください。

(回答はいくつでも)

- パパ・ママ育休プラス(夫婦で育児休業を取得する場合に、子が1歳2か月に達するまで休業を可能とする制度)
- 父親が産後8週間以内に育児休業を取得し、8週間以降に再度育児休業を取得した
- 配偶者が専業主婦(夫)の方で、夫(妻)が産後8週間を超えた時期に育児休業を取得した
- 上記のいずれも利用していない(制度の対象外や、制度がなかった場合も含む)

Q21_1 末子出産時の休暇・休業の取得日数は、あなたの希望通りでしたか(現在取得中の方は、予定でお答えください)。
なお、女性の場合、産前産後休暇の期間は対象外としてください。

(回答は1つ)

- 休暇・休業の取得日数は、おおむね希望どおりだった
- 自分の希望に比べて、実際の休暇・休業の取得日数は長かった
- 自分の希望に比べて、実際の休暇・休業の取得日数は短かった

「自分の希望に比べて、実際の休暇・休業の取得日数は短かった」とお答えの方におうかがいします。

Q21_2 全部で何日くらい休暇・休業を取得したかったですか。
休暇・休業の種類を問わず、希望した休暇・休業期間のトータルでお答えください。

(回答は半角数字で入力)

希望した休暇・休業期間トータルで 年 か月 日間

Q22 末子出産時に休暇・休業等を取得した際、あなたの仕事の引継ぎはどのように行われましたか。

(回答はいくつでも)

※女性で産前産後休業のみ取得した方は、産休前後の状況についてお答えください。

- 同じ部門の正社員に引き継いだ
- 同じ部門の非正社員(パートや派遣社員など)に引き継いだ
- 他の部門・事業所等から新たに異動した人員に引き継いだ
- 新たに採用した正社員に引き継いだ
- 新たに採用した非正社員(パートや派遣社員など)に引き継いだ
- 外注した
- 休業前に仕事を整理したため、引き継ぐべき仕事はなかった
- その他 具体的に:
- わからない

Q23_1 末子出産時の休暇・休業等から復職する前後で仕事内容は変わりましたか。
休暇・休業を取得した会社が現在の会社と異なる場合は、休暇・休業を取得した会社についてお答えください。

(回答はいくつでも)

※女性で産前産後休業のみ取得した方は、産休前後の状況についてお答えください。

休業前との仕事内容の変化

- 休業前と同じ仕事内容
- 休業前と異なるが、休業前の職責や能力に応じた仕事内容
- 休業前と異なり、休業前の職責や能力に見合わない簡単な仕事内容
- その他 具体的に:
- 現在、休暇・休業中である/休暇・休業を取得した会社で休暇・休業後の経験はない

Q23_2 復職後の仕事内容はあなたの希望通りでしたか。

(回答は1つ)

あなたの希望との合致状況

- 自分の希望通りだった
- 自分の希望以外だった
- どちらもいえない、わからない

Q24

育児休業の取得は、復職後の評価にどのような影響があったと思われますか。
育児休業を取得した会社が現在の会社と異なる場合は、育児休業を取得した会社についてお答えください。

(回答は1つ)

- 育児休業を取得したこと自体は、復職後の評価には影響していない
- 育児休業を取得したことは、復職後の評価にマイナスの影響があった
- 育児休業を取得したことが、どのように評価されたかわからない、知らない
- その他 具体的に:

末子の妊娠・出産を機にいったん退職して再就職した方や、育児休業を取得した方にお聞きします。

Q25

お仕事に復帰後、出産前に働いていた時とほぼ同じような状態に戻れた(仕事の勤が戻った)と感じるまで、どのくらいかかりましたか。

(回答は1つ)

※短時間勤務制度を利用している方は、時間あたりでフルタイムと同じように活躍できているかという目安でお答えください。

- 復職後、比較的すぐ
- 復職後3か月くらい
- 復職後半年くらい
- 復職後1年くらい
- 復職後2年を超えてから 具体的に何年:
- まだ戻れていない
- わからない

Q26

あなたが、末子出産時に育児休業を取得しなかった理由は何ですか。

(回答はいくつでも)

- 育児休業制度がなかった、または自分は制度の対象外だったから
- 職場が育児休業制度を取得しにくい雰囲気だったから
- 男性の両立支援制度利用に対して、会社や職場の理解がないため
- 配偶者や子の祖父母等、自分以外に育児をする人がいたから
- 保育所等に預けることができたから
- 収入が減り、経済的に苦しくなると思ったから
- 職場や同僚に迷惑をかけると思ったから
- 業務が繁忙であったため
- 仕事にやりがいを感じていたため
- 休業から復職する際に、仕事や職場の変化に対応できるか不安だったから
- 休業前と同じ仕事や職場に復職することが難しいと思ったから
- 昇給や昇格など、今後のキャリア形成に悪影響があると思ったから
- 配偶者や家族から反対があったから
- その他 具体的に:

【5. 所定外労働(残業)の免除・短時間勤務制度についておうかがいします。】

Q27 あなたは、所定外労働(残業)の免除、および短時間勤務制度について、勤務先の制度及び法律上定められている制度の内容について、どの程度知っていますか。それぞれ近いものを1つお選びください。

(回答は横の行ごとに1つずつ)

	よく知っている	だいたい知っている	あまり知らない	全く知らない
所定外労働の免除				
現在の勤務先の所定外労働の免除の内容	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
所定外労働の免除が法律で原則義務付けられていること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
【法律上、定められている制度】制度の対象要件(雇用形態、勤続年数など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
【法律上、定められている制度】制度を利用できる子どもの年齢	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
短時間勤務制度				
現在の勤務先の短時間勤務制度の内容	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
短時間勤務制度の導入が法律で原則義務付けられていること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
【法律上、定められている制度】制度の対象要件(雇用形態、勤続年数など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
【法律上、定められている制度】制度を利用できる子どもの年齢	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q28 あなたは、所定外労働の免除、及び短時間勤務制度を利用した経験がありますか。過去に利用していた方は、平成22年6月30日(改正育児・介護休業法の施行)以降に利用があるかどうかについてもお答えください。

(回答は横の行ごとに1つずつ)

※現在所属する企業以外での利用経験も含めてお答えください。

	現在利用している	以前は平成22年6月30日以前に利用していたが、現在は利用していない	以前は平成22年6月29日以前に利用していたが、現在は利用していない	利用したことはない
所定外労働の免除	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
短時間勤務制度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q29

- (1)あなたは制度利用の対象である子が何歳まで、**所定外労働の免除**を利用する予定ですか(または利用しましたか)。
 (2)また、希望としては子どもが何歳になるまで**所定外労働の免除**を利用したい(または利用しなかった)ですか。

(回答は横の行ごとに1つずつ)

※複数の利用経験がある方は、直近のご経験について、お答えください。

	2歳未満	2歳以上―3歳未満	3歳以上―小学校にあがる前まで	小学校1年生が終わるまで	小学校2年生―3年生まで	小学校4年生―6年生まで	中学生以上	子どもが何歳にかかわりなく、手がからなくなるまで
(1)実際の利用期間 (今後の予定も含む)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(2)希望する利用期間	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q30

- (1)**所定外労働の免除**を利用する際、仕事の内容や量はどのように変わりましたか。
 (2)また、(1)の仕事内容の変化(変わらなかった場合も含めて)は、あなたの希望通りでしたか。

(回答は1つずつ)

(1)制度利用による仕事内容の変化

- 業務内容・責任等はそのまま、業務量が減少した
 業務内容・責任等はそのまま、業務量も変わらなかった
 所定外労働の免除になじみやすい業務内容・責任等へ転換した上で業務量も減少した
 所定外労働の免除になじみやすい業務内容・責任等へ転換したが、業務量は変わらなかった
 その他 具体的に:

(2)あなたの希望との合致状況

- 自分の希望通りだった
 自分の希望以外だった
 どちらともいえない、わからない

Q31

- (1)あなたは制度利用の対象である子が何歳まで、**短時間勤務制度**を利用する予定ですか(または利用しましたか)。
 (2)また、希望としては子どもが何歳になるまで**短時間勤務制度**を利用したい(または利用しなかった)ですか。

(回答は横の行ごとに1つずつ)

※複数の利用経験がある方は、直近のご経験について、お答えください。

	2歳未満	2歳以上―3歳未満	3歳以上―小学校にあがる前まで	小学校1年生が終わるまで	小学校2年生―3年生まで	小学校4年生―6年生まで	中学生以上	子どもが何歳にかかわりなく、手がからなくなるまで
(1)実際の利用期間 (今後の予定も含む)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(2)希望する利用期間	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q32 (1)あなたは**短時間勤務**で、実際には、1日あたり何時間働いていますか(働きましたか)。短時間勤務での所定労働時間(残業などは含まない)をお答えください。
(2)また、希望としては、何時間働きたい(働きたかった)ですか。

(回答は横の行ごとに1つずつ)

	4時間以内	4時間超—5時間以内	5時間超—6時間以内	6時間超	日によって異なる	短日勤務(1週あたりの勤務日数が少ない)	通常の勤務と同じ
(1)実際の勤務時間(所定労働時間で)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(2)希望する勤務時間	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q33 (1)**短時間勤務制度**利用に際して、仕事の内容や量はどのように変わりましたか。
(2)また、(1)の仕事内容の変化(変わらなかった場合も含めて)は、あなたの希望通りでしたか。

(回答は1つずつ)

(1)制度利用による仕事内容の変化

- 業務内容・責任等はそのままで、業務量が減少した
- 業務内容・責任等はそのままで、業務量も変わらなかった
- 短時間勤務になじみやすい業務内容・責任等へ転換した上で業務量も減少した
- 短時間勤務になじみやすい業務内容・責任等へ転換したが、業務量は変わらなかった
- その他 具体的に:

(2)あなたの希望との合致状況

- 自分の希望通りだった
- 自分の希望以外だった
- どちらともいえない、わからない

Q34 あなたの職場では、**短時間勤務制度**利用者の評価(人事考課)はどのように行われますか。

(回答は1つ)

※過去の会社でしか**短時間勤務制度**を利用した事がない方は、過去(直近)の会社の評価についてお答えください。

- 短時間で就労時間が減った分の給与は減るが、評価は仕事内容に応じてなされる
- 短時間で就労時間が減った分の給与が減り、評価も通常勤務者と比べて低くなる
- 短時間でも給与は減らず、仕事内容に応じて評価がなされる
- その他 具体的に:
- どのように評価されるかわからない、知らない

Q35 あなたが、**短時間勤務制度**を利用している(いた)時、フルタイムで働いている人と時間あたりでみたときに変わらない成果を出している(出せていた)と思いますか。

(回答は1つ)

- フルタイム勤務の人より、時間あたりの成果は高い、またはどちらかという高いと思う
- フルタイム勤務の人と時間あたりの成果は変わらないと思う
- フルタイム勤務の人より、時間あたりの成果は低い、またはどちらかという低いと思う
- わからない

Q36 短時間勤務制度を利用する上で気を付けている(気を付けた)ことは何ですか。

(回答はいくつでも)

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 仕事を効率的にすすめること | <input type="checkbox"/> 職場の同僚とのコミュニケーション |
| <input type="checkbox"/> 仕事の質を落とさないこと | <input type="checkbox"/> 上司とのコミュニケーション |
| <input type="checkbox"/> スキルアップを図ること | <input type="checkbox"/> 他の制度利用者とのコミュニケーション |
| <input type="checkbox"/> 決めた時間に確実に仕事を終えること | <input type="checkbox"/> 顧客や取引先とのコミュニケーション |
| <input type="checkbox"/> 決めた時間に仕事が終わらなくても、確実に帰ること | <input type="checkbox"/> その他 具体的に: <input type="text"/> |
| <input type="checkbox"/> 職場の同僚・上司に仕事を引き継げるように仕事内容をみえるようにしておくこと | <input type="checkbox"/> 特になし |

Q37 短時間勤務制度を利用する上で不満なことは何ですか。

(回答はいくつでも)

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 実際に、決めた時間に帰れないこと | <input type="checkbox"/> 時には残業したいができないこと |
| <input type="checkbox"/> 時間は減らしても仕事内容・量が変わらないこと | <input type="checkbox"/> 職場の上司・同僚の理解が得られないこと |
| <input type="checkbox"/> 責任ややりがいのある仕事ができないこと | <input type="checkbox"/> 顧客や取引先の理解が得られないこと |
| <input type="checkbox"/> 仕事内容・量に対して評価が低いこと | <input type="checkbox"/> 制度の内容が不十分なこと |
| <input type="checkbox"/> 昇進・昇格が遅れること | <input type="checkbox"/> その他 具体的に: <input type="text"/> |
| <input type="checkbox"/> キャリアアップの道がみえなくなること | <input type="checkbox"/> 特になし |

Q38 あなたは、現在の職場で短時間勤務制度を利用したいですか。利用を希望する場合は、子どもが何歳になるまで利用したいかをお選びください。

(回答は1つ)

- 2歳未満
- 2歳以上～3歳未満
- 3歳以上～小学校にあがる前まで
- 小学校1年生が終わるまで
- 小学校2年生～3年生まで
- 小学校4年生～6年生まで
- 中学生以上
- 子どもの年齢にかかわらず、手がかからなくなるまで
- 短時間勤務制度を利用したいとは思わない

【6. 子の看護休暇制度についておうかがいします。】

Q39 あなたは、子の看護休暇制度について、勤務先の制度及び法律上定められている制度の内容について、どの程度知っていますか。それぞれ近いものを1つお選びください。

(回答は横の行ごと1つずつ)

	よく知っている	だいたい知っている	あまり知らない	全く知らない
勤務先の制度				
現在の勤務先の子の看護休暇制度の内容	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
法律上定められている制度				
制度の対象要件(雇用形態、勤続年数など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
制度が利用できる子どもの年齢	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
1年間に利用できる日数	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
制度の利用対象となる事由(利用できる理由)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q40_1

あなた及び配偶者(いる方のみ)は、昨年1年間に、お子さんの病気により次の制度等を利用したり、祖父母など親族にお子さんを看護してもらいましたか。

(回答はいくつでも)

あなた

- 子の看護休暇制度
- 年次有給休暇制度
- その他の休暇制度
- 欠勤
- 利用していない

配偶者

- 子の看護休暇制度
- 年次有給休暇制度
- その他の休暇制度
- 欠勤
- 利用していない

あなた及び配偶者(いる方のみ)

- 通常保育以外の預かりサービス(病児・病後児保育、ベビーシッター等)
- 祖父母など親族による看護
- 利用していない

Q40_2

また、それらは、それぞれ何日ありましたか。おおよそでお答えください。

(回答は半角数字で入力)

※半日取得した方も1日と記入してください。

あなた

子の看護休暇制度 日間
年次有給休暇制度 日間
その他の休暇制度 日間
欠勤 日間

配偶者

子の看護休暇制度 日間
年次有給休暇制度 日間
その他の休暇制度 日間
欠勤 日間

あなた及び配偶者(いる方のみ)

通常保育以外の預かりサービス(病児・病後児保育、ベビーシッター等) 日間
祖父母など親族による看護 日間

Q41 子の看護休暇を取得しなかった理由は何ですか。次のうち、最もあてはまるものを1つ選び、お答えください。

【回答は1つ】

- 自分以外に看護をする人がいた（配偶者や子の祖父母・親族等）
- 病児・病後児保育等の保育サービスを利用した
- 年次有給休暇の取得で対応した
- 職場に迷惑がかかるため取得しなかった
- 職場の雰囲気で取りづらかった
- 家計への影響（収入が減る）のため取得しなかった
- 子どもが病気等にならず、取得する必要が生じなかった
- 制度があることを知らなかった
- 制度はあるが自分は対象になっていなかった
- その他 具体的に：

Q42 子どもの病気への対応について必要な施策、又は拡充が必要な支援策は何ですか。最もあてはまるものを1つ選んでください。

【回答は1つ】

- 病児・病後児保育等の保育サービスの充実
- 職場を含め、仕事と家庭の両立についての社会の理解の促進
- 仕事と家庭の両立のための施策の周知広報
- 子の看護休暇の日数の延長
- 子の看護休暇の取得を原因とする減収の補填
- 育児休業、子の看護休暇の取得等を理由とした不利益取扱いに対する指導の強化
- その他 具体的に：

【7. 職場の特徴についておうかがいます。】

Q43 あなたの現在の仕事や職場の特徴として、以下の各項目について、最も近いものを1つずつお選びください。

【回答は横の行ごと1つずつ】

	そう 思う	やや そう 思う	あまり そう 思わ ない	そう 思わ ない
所定時間内で仕事を終えることを奨励している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
従業員の生活やキャリア形成に配慮した業務配分をしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
職場内で必要な情報を共有している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
評価・処遇は適正になされている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
マニュアルが整備されており、誰かが休んでも業務が円滑に遂行できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
仕事の手順を自分で決めることができる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
仕事の締切や納期にゆとりがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
仕事に必要な職業能力（知識・技能の要件）が明確である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	そう 思う	やや そう 思う	あまり そう 思わ ない	そう 思わ ない
業務量や重要な業務が特定の人に偏らないように配慮している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
同僚や部下の家庭の事情や仕事と生活の調和に配慮する雰囲気がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
人数に比べて仕事の量が多い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
お互いの仕事をカバーできるようになっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
人材育成に力を入れている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
上司とのコミュニケーションは円滑である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
部下や同僚とのコミュニケーションは円滑である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【8. 育児のための柔軟な働き方に対するニーズ・課題についておうかがいします。】

Q44 育児のための柔軟な働き方の制度について、現在の勤務先に制度があるかどうかと、現在の勤務先での利用経験をお選びください。

(回答は横の行ごとに1つずつ)

	制度があり 利用したことがある	制度はあるが 利用したことはない	制度はない	制度があるかないか わからない
深夜・休日勤務の免除	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
法定時間外労働の制限	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
フレックスタイム制度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
始業または終業時刻の繰上げ・繰下げ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
事業所内託児施設	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
在宅勤務制度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
育児期の転居を伴う転勤の免除、勤務地の制限	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
出産・育児により退職した従業員の再雇用制度（※定年退職者の再雇用制度は除く）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q45 あなたは、次世代育成支援対策推進法に基づく次世代認定マーク「くるみん」を知っていますか。

(回答は1つ)

- はい
- いいえ

Q46 あなたは現在の仕事にやりがいを感じていますか。

(回答は1つ)

- 非常に感じている
- ある程度感じている
- あまり感じていない
- まったく感じていない
- どちらともいえない、わからない

Q47 仕事と家事・育児の優先度について、(1)実際の状況と、(2)あなたの希望はどれに近いですか。次のうち、最も近いものをそれぞれ1つずつお選びください。

(回答は横の行ごとに1つずつ)

	仕事優先	両立志向だが どちらかという と仕事優先	家事・育児と 仕事を同程度に 重視	両立志向だが どちらかという と家事・育児優先	家事・育児優先
(1)実際の状況	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(2)あなたの希望	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q48

あなたは、出産前後でご自身の職業キャリアに対する考え方が変わりましたか。

(1)最初のお子さんを持つ前と、(2)現在のそれぞれについて、以下のうち最も近いものを1つずつお選びください。

(回答は横の行ごとロツツ)

	できるだけ早いペースで管理職に昇進したい	自分なりのペースで管理職に昇進したい	できるだけ早いペースで専門性・専門的な知識・技術などを高めたい	自分なりのペースで専門性・専門的な知識・技術などを高めたい	昇進や専門性の向上には興味はないが今の仕事をがんばりたい	昇進や専門性の向上には興味はないが様々な仕事を経験したい	昇進や専門性の向上には興味がないが仕事以外の生活を充実させたい	左記にはあてはまらない
(1)最初のお子さんを持つ前	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(2)現在	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q48で最初のお子様を持つ前と現在でキャリアに対する考え方が変わったとお答えになりました。

Q49

最初のお子さんを持つ前と現在で、キャリア意識が変化した理由は何ですか。あてはまるものをすべてお選びください。

(回答はいくつでも)

- 会社・職場がやりがいや責任のある仕事や、活躍機会を与えてくれたから
- 会社・職場が育児との両立を支援してくれたことに応えたいから
- 子どもを持って仕事を継続できることがわかり、長期的なキャリアがイメージできるようになったから
- 子育てなど仕事以外の生活体験を仕事に活かしたいと思うようになったから
- 子どもの誕生や成長により、家族を養うことへの責任感が強まったから
- 育児中の社員は、やりがいや責任のある仕事ができないから(配置転換や担当顧客の変更等を含む)
- 残業など長時間働くことができないと評価を得られないから
- 所定外労働の免除や短時間勤務など両立支援制度利用者の仕事ぶりに対する評価が低いから
- 両立支援制度を利用しながら子育てしている社員の長期的なキャリアイメージがみえないから
- 転勤ができないと昇進・昇格できないから
- 仕事と育児との両立について、職場や上司の理解が得られないから
- 子どもや家族の世話に時間をかけたいから
- その他 具体的に:

Q50

あなたは現在の勤務先で勤め続けることについて、どのようにお考えですか。

(回答は1つ)

- できるだけ長く勤め続けたい
- 当面は勤め続けたい
- できれば早くやめたい
- どちらともいえない、わからない

Q51

あなたは、子どもを持ちながら働き続ける上で必要なのはどのようなこととお考えですか。

(回答はいくつでも)

- やりがいが感じられる仕事の内容
- 子育てしながらでも働き続けられる制度や職場環境
- 性別によらず能力を発揮する機会の確保
- 働きぶりを上司や同僚に認められること
- 男女均等な待遇と公正な人事評価の徹底
- 残業があまり多くないこと
- 勤務時間が柔軟であること
- ロールモデルとなる先輩や同僚がいること
- 長期的に安定した継続雇用
- その他 具体的に:
- 特になし

Q52 次のうち、あなたが現在の勤務先で働き続けるために、現在の勤務先・職場に改善を希望することはありますか。

(回答はいくつでも)

- 配置転換等による仕事の内容の見直し
- 研修や自己啓発に対する支援
- 働きぶりを上司や同僚に認められること
- 男女均等な待遇と公正な人事評価の徹底
- 職場における仕事と家庭の両立支援施策の充実 具体的に:
- 残業の削減
- 勤務時間の柔軟化
- 仕事や仕事と家庭の両立問題について相談できる体制
- 職場風土の改善
- その他 具体的に:
- 特になし